

児童英語教育研究センター Center for Teaching English to Children (CTEC)

vol. 11
MAY. 2020

小学校「英語」 検定教科書・教材

今年度より小学校高学年(五・六年生)に「教科」として導入された英語。教科化に伴い、これまでの「外国語活動」と大きく異なる点の一つとして、「検定教科書」があります。これまでは今年度からの新学習指導要領のスタートを目前に、平成三十年年度から移行期間として文部科学省が独自に開発した「Let's Try!」(中学年用)や「We Can!」(高学年用)が「外国語活動」の補助教材として使われていました。しかし今年度からは、民間の教科書発行者が学習指導要領をもとに図書を作成し、文部科学大臣の検定を経て、各市町村の教育委員会がその地域や学校に最もふさわしいと判断した図書が教科書として使われるようになります。

CTECでは、各社の教科書・指導書を取り揃えており、昨年度まで「外国語活動」で使用されていた教材も保管しています。昨年度までの学習内容と何が変わったのか、各検定教科書の違いなど、ぜひ学内での授業再開となりましたら、手に取ってご覧ください。また、各社ホームページ上にて、掲載内容を公開していますので、興味のある方は各自アクセスの上、参照することも可能です。

※現在、数量には限りがあります。検定教科書・教材に関しては、センター内での閲覧のみに限り、貸出は行いません(閲覧・本学学生に限る)。

参考資料

海外・沖縄実習 課題内容紹介 ポートフォリオ



例年春季休業中に実施されている「児童英語海外実習」・「児童英語教育実習(沖縄)」では、課題の一つとして「ポートフォリオ」の作成があります。

【ポートフォリオとは】

- 『学習、スキル、業績を実証するための成果(work)を、ある目的のもと、組織化/構造化しまとめた収集物』(Jones, M. & Shelton, M., 2006).
- 学習記録ファイル。「自発的に学びの伸びや変容を多面的・多角的に評価し、新たな学びに生かすために集めた学習物」(計画表、写真、収集した資料、絵やイメージマップ、インタビュー記録、新聞、レポートなど)。
- ポートフォリオ開発のプロセスと継続的なリフレクションの重要性を重視。

※「児童英語海外実習・児童英語教育実習(沖縄)」では、授業や授業外の教育体験活動をとおして習得した知識・技能、実践的指導力、および教員として求められる資質能力が形成されているかどうかポートフォリオを通して確認します。

次号以降では、過去の参加学生課題内容を紹介します。

履修修正・課程資格申請

5月12日(火)・13日(水) Campus webより

上記期間中、WEB履修修正・中止期間です。既に児童英語教員養成課程を履修している方は、下記留意してください。

【令和2年度後期「児童英語教育実習(船橋)」への参加を希望する2年生以上の学生】

実習は主に後期授業期間中に行われますが、事前に教育委員会との学校・人数の調整をする必要があるため、前期に履修登録しておく必要があります。現在履修を迷っている方も、少しでも今年度後期に参加の可能性がある場合には、必ず登録をしてください。(例年7月頃まで最終の参加意思確認を行っており、その時点での辞退は可能です。)

※同年度前期に履修条件の科目を履修中の場合には、システム上反映されない場合があります。

別途、各自教務課へお問い合わせください。

【課程資格未申請の2年生以上の学生】

各自自分の履修してる課程は、WEB上で資格申請が必要です。課程指定科目を履修していても、この申請をしていない場合には、履修登録の際に実習科目確認などが行えない場合があります。特に4年生は今年度の修了書発行の際の判断として必要となりますので、必ず確認してください。

前期履修科目の変更は上記期間内に限られますので、忘れずに行ってください。

新学習指導要領紹介 #1

【外国語活動 ～英語～ 目標】



今年度より小学校中学年(3・4年生)より「外国語活動」が開始、高学年(5・6年生)は「外国語」が教科として導入されました。文部科学省より公表されている「学習指導要領」の内容の一部を数回にわけて、ご紹介いたします。第1回となる今回は、中学年「外国語活動」の目標に関してご紹介いたします。

「外国語活動(英語)」では、「聞くこと」、「話すこと(やり取り)」、「話すこと(発表)」の3つの領域に分けて、それぞれの目標を掲げています。小学校ではinteractiveな授業が重視され、大学においてもとても重要なプレゼンテーションの基礎を築く指導が行われています。

小学校中学年(3・4年生)の「外国語活動(英語)」の目標

聞くこと		話すこと		
		やり取り	発表	
ア	ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。	ア	基本的な表現を用いて挨拶、感謝、簡単な指示をしたり、それらに応じたりするようにする。	
イ	ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。	イ	自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。	
ウ	文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかが分かるようにする。	ウ	サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。	
			発表	
			ア	身の回りの物について、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。
			イ	自分のことについて、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。
			ウ	日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。

参照: 文部科学省(平成29年度3月)「小学校学習指導要領(平成29年告示)」https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/index.htm

CTEC教職員紹介 ① センター長・田中 真紀子



田中 真紀子 Makiko TANAKA
英米語学科・教授
本センター・センター長

【ご挨拶】

みなさん、こんにちは。

私が担当している「認知発達と英語教育」では、子どもの認知と言語がどのように発達するかを学びます。授業では、認知発達の観点から、子どもが概念を形成していく過程、言語の獲得、脳の構造と仕組み、発達障害、心の理論、ピアジェの発達理論や、ヴィゴツキーの社会文化理論等を扱います。このような知識を基に、英語指導法や技術を考察します。

子どもの英語教育に興味のある方は、是非履修してください。お待ちしております。

【略歴】

上智大学卒業後、上智大学大学院よりMA(修士号)、カリフォルニア大学サンタバーバラ校よりMA(修士号)、同大学よりPh.D.(博士号)を取得。教育学博士。専門は、教育学、応用言語学。本学では、「English for Academic Purposes」、「英語専門講読」、「認知発達と英語教育」、「研究演習(ゼミ)」の他、各児童英語関連の実習指導を担当。大学院(MA TESOLプログラム)では、「Principles of Teaching English to Young Learners」を担当。

千葉県船橋市英語教育推進委員会有識者代表。神田外語キッズクラブ顧問。著書にTOEFLテスト対策書(旺文社、アルク)、「英語のプレゼンテーション」(研究社)、「小学生に英語の読み書きをどう教えたらよいか」、「絵本で教える英語の読み書き ～小学校で実践したい英語絵本の指導法～」(研究社)以上。

5月 CTEC開室予定

(2020年4月27日時点)

【当面のCTEC利用に関して】

令和2年度前期期間中は下記の通り、変更致します。

- ① 来室、図書・物品の貸出原則中止
- ② 履修相談希望者
→右記メール宛てにお問い合わせください。

※問い合わせ手順は、別途「児童英語教員養成課程案内」p.1を参照してください。

For more information

[TEL] 043-273-1579

[E-mail] ctec@ml.kuis.ac.jp

[URL] <https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/labo/ctec/>



こどもの日: Children's Day
編集: 佐々木